

米国ワシントン州 サクランボの価格は最低の部類

[FreshFruitPortal](#) 2025年8月6日

今年、ワシントン州産のサクランボは早くから、しかも大量に市場に入荷した。店頭にはまだ価格の高いカリフォルニア州産が残っていた上、数量が多すぎて適切な配分ができなかったため、2025年のワシントン州のサクランボシーズンは、CMIオーチャーズ社のローレン・フォス事業戦略担当副社長が「サクランボ価格はおそらく過去15年から20年の間で最悪の年の1つ」と述べた状況に陥った。(以下「」は同氏の話)

「ワシントン州からの出荷量が急激に増加したため、荷を動かすために小売業者に速やかに値を下げてもらい出荷量に追い付くだけの販売量を確保するということができなかった。」

この結果は厄介であるが、このワシントン州のサクランボシーズンが生産者にとって品質の面では成功であったことを考えると、事態はむしろドラマチックである。暑さによる外観や味への影響は全くなかったが、天候の変化により収穫物は予定より早く市場に入荷し、元々多い同州産のサクランボがさらに多くなり、カリフォルニア州産とスペースを奪い合うという悪夢のようなシナリオが生まれた。

フォス氏は、ワシントン州産の出荷量が増えていたとき、市場にはまだ非常に高価なカリフォルニア州産があったため、それを高値で仕入れた小売業者達は損失を被りたくなかったのだと説明する。ワシントン州産のサクランボの価格は動かなかったのも、同州にとっては悪い知らせであった。「我々は勢いをつけて軌道に乗ることができなかった。」

ワシントン州産のサクランボはパッとせず

ワシントン州とカリフォルニア州のサクランボは、通常は競合しない。フォス氏によると、ワシントン州のサクランボの収穫は通常6月に始まり、それまでにカリフォルニア州産は既に店頭から姿を消している。これは、ほとんどの市場が空っぽで、より多くの商品を受け入れる準備ができていることを意味する。すなわち、ワシントン州が6月の旺盛な需要に間に合うように出荷を開始し、出荷量を増やすことへの青信号であり、サクランボのメインイベントである独立記念日(7月4日)に向けて消費者の期待を高めることができる。

「7月4日に向け、ワシントン州の収穫量の少なくとも半分を6月中に安定した価格で出荷することができる。4日以降は、残りの果実の販売を進めるにつれて価格が下がる傾向にある。」

しかし、2025年は違った。ワシントン州産のサクランボは最盛期である6月に小売業者からの強い引き合いが全くなく、一方、産地の関係者達は小売業者に対し、「荷動きを増やすために小売価格を下げる」よう求め続けたと同氏は説明する。夏休みの期間中にも価格は4.99ドル、最安値では3.99ドルまで下がり、業界がその時期に見慣れているよりも大幅に大きな値下げとなった。

痛ましい皮肉

事態の展開から予想されたとおり、今年の価格は生産者の収益に大きな打撃を与え、その結果、多くの人が果樹園に見切りをつけるざるを得なくなった。

「彼らは果実を出荷しても『代金ではなく請求書を受け取ることになる』と言っており、果樹園にはかなりの量の果実が残っている。今年のサクランボは本当に美味しい果実だったことを覚えておいてほしい - 味が最高で、品質が素晴らしいのに、価格があまりにも安すぎた。」

フォス氏は生産者の立場から、皮肉な事態に不満を抱いている。「生産者達は素晴らしい果実を育てている。彼らは自分達の仕事をしている。生産者が収益を得られるようにすることが課題だ。」

執筆者: アイリーン・ロドリゲス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)